

岡山市火葬場問題 これまでの経緯について



平成 26 年 7 月 13 日

火葬場について考える会会長 片山 奈緒美

〒701-1133 岡山市北区富吉 2648-1

090-1013-3641

<これまでの経緯>

H24.9.15 岡山市は、安定型産業廃棄物処分場跡地への斎場建設計画を富吉町内会に打診。

H24.9.29 岡山市北区富吉地区臨時総会にて、斎場建設に関して「条件付き賛成」の決議
この時、岡山市からの説明も何もなし。建設用地周辺の住民は誰も候補地にな
っていることすら知らなかった。

10.15 町内会長より岡山市へ要望書提出（道路拡張やら、公民館の耐震工事やら）

11.28 町内会長 斎場建設承諾書を市に提出（地元住民は知らず）

11.29 第 1 回 反対の陳情書・署名を提出（予定地近隣住民 12 世帯 28 名）

12.13 第 1 回馬屋上学区説明会（この時点では、これが第 1 歩という説明で、地元住
民は承諾書を出されていることなど知らなかった。反対意見が続出した。）

H25.1.18 第 2 回 反対の陳情書・署名を提出（150 世帯 358 名）

5.22 岡山市による富吉地区への説明会

8.18 第 2 回馬屋上学区説明会（要望書の回答）

地元住民は、承諾書が出されていることを初めて知り、説明会は紛糾
再度、各町内の賛否を問うことで散会したが・・・その後、富吉町内会で
話し言われることはなかった。

11.16 富吉地区住民有志により、臨時総会開催 委任状含め 60 名の参加
賛成 3 票 反対 53 票 白票 1 票 にて、反対の決議
岡山市は受け入れず。

12.20 岡山市議会にて、産廃跡地購入予算として 4 億 6 千万円余をあげ、可決。
しかし、議会にて産廃跡地を購入数することや地元住民への説明不足などの問題
が提起され、地元住民への説明をとということになる。

H26. 1.18～ 岡山市による各戸訪問が始まる。

2.7 第 3 回 反対の陳情書・署名を提出（180 世帯 466 名）

2.9 第 3 回馬屋上学区説明会（建設に向けての計画）

反対意見続出

3 月末 岡山市、産廃跡地を 4 億 6 千万余円で購入

6. 14 青山貞一氏をお迎えして学習会を開催

6 月議会 土地調査費・環境影響調査費として 6 千 8 百万余円を予算請求、可決。

馬屋上学区住民

田原 120 世帯 381 名

富吉 118 世帯 376 名

三和 49 世帯 177 名

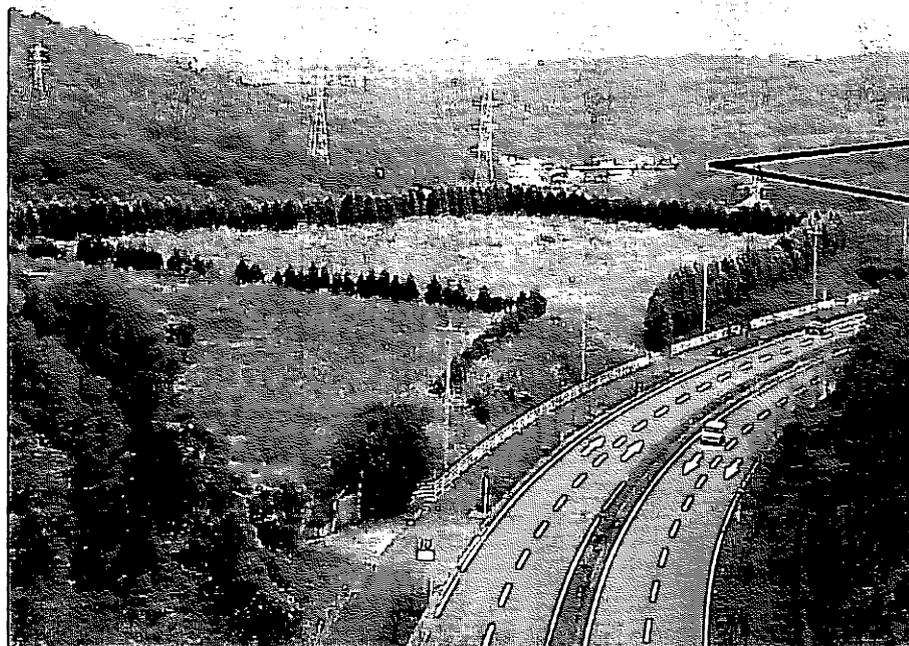
日応寺 43 世帯 155 名

合計 330 世帯 1069 名

たび重なる地元住民の声に耳を貸すことなく、町内会長の承諾書一つを盾に、突き進む岡山市のやり方に、地元住民は怒りをもって闘っています。安定型産業廃棄物処分場跡地を 4 億円もの高額で購入し、さらに、購入後 6 千万円以上の予算をかけて調査するなど、普通では到底考えられない手法で計画が進められています。

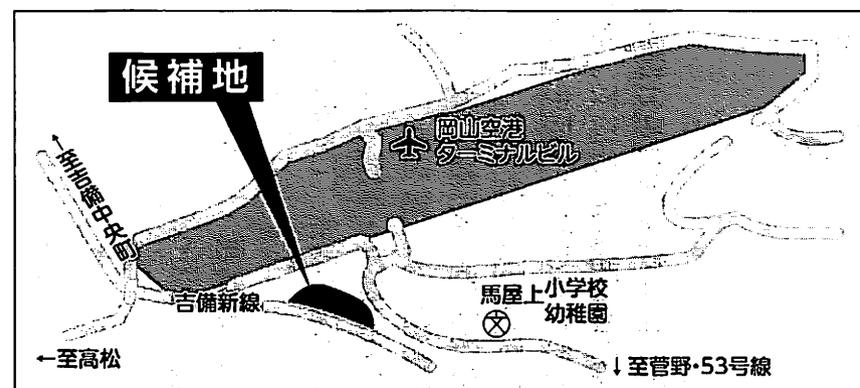
斎場建設のような重要な案件が、候補地になってわずか 3 カ月足らずで、町内会からの「承諾書」が提出されていること、しかも、行政はそれに何ら疑問ももたずに進めることに私たちは大きな疑念をもち、追及していくつもりです。

えっ！？こんな所に火葬場が？！ 近隣住民は承諾していません！！



麓には谷に沿って、集落が続いています。
見晴らしのいい、このような場所に火葬
場が……

こんなことってありますか？



岡山空港から岡山市内へと通じる幹線道路(吉備新線)。
そのすぐ横の産業廃棄物処分場跡地を、火葬場の建設用地として岡山市は購入し
ようとしています。

平成25年12月20日の市議会で、岡山市議会はこの予算を可決しました。

産廃跡地にもかかわらず、環境調査もせず、土地購入に踏み切
る岡山市のやり方に、住民は疑問をもっています。